

サイボウズ® ガルーン® 2

デジエ連携ガイド

第 1 版

サイボウズ株式会社

はじめに




本書では、バージョン 2.5.3 以降の「サイボウズ ガルーン 2」を、バージョン 8.0.2 以降の「サイボウズ デヂエ」と連携させる設定方法、および設定後の操作方法について説明しています。

● 対象読者

本書は、「サイボウズ ガルーン 2」を「サイボウズ デヂエ」を連携させてお使いになる一般ユーザーおよび管理者の方を対象として書かれています。

● 本書で使用している表記

本書では、次の表記を使用しています。

表記	意味
 重要	特に重要な注意事項を記述しています。
 注意	操作に注意すべき事項、制限事項などを記述しています。
 補足	操作の補足説明や別の操作方法、知っていると便利な事柄などを記述しています。
→P.xx	参照先のページ数を表します。
※	用語の説明や操作を補足する説明が後述されていることを表します。

● マニュアル作成環境

本書の説明は、特に記述がない限り、次の環境を使用して記述しています。

OS	Windows XP
Web ブラウザー	Internet Explorer 7
製品バージョン	サイボウズ ガルーン バージョン 2.5.3 サイボウズ デヂエ 8.0.2

※ 本書で掲載している画面表示は、お使いの Web ブラウザーによって異なります。

● 製品名称と略称

本文中、各製品名称は以下のように表記します。

サイボウズ ガルーン 2	ガルーン 2
サイボウズ デヂエ	デヂエ
サイボウズ Office	Office

● **本書の取り扱いについて**

この文書内における掲載情報の二次利用においては、ご自身の判断と責任の下に行ってください。

サイボウズ株式会社は、それらの情報を利用したことによって生じたいかなる損害についても、その責を負わないものとします。

また、本文書を二次利用し作成した文書には、次のような当社の著作権表示文を記載してください。

「本文書は、サイボウズ株式会社による『ガルーン 2 デヂエ連携ガイド』を一部引用しております。」

● **商標について**

サイボウズ、Cybozu、ガルーン、Garoon、デヂエおよびサイボウズのロゴマークはサイボウズ株式会社の登録商標です。

なお、本文および図表中では、他社登録商標、商標に(TM) マーク、(R) マークは明記していません。

Copyright (C) 2009 Cybozu, Inc.

目次

はじめに	2
目次	4
1章 デチエ連携について	5
1.1 デチエ連携の概要	5
1.2 連携に必要な条件	5
1.3 連携仕様	6
2章 ユーザー情報を同期する	7
2.1 ユーザー情報の同期を設定する前に	7
2.2 ユーザー情報の同期を設定する	10
3章 デチエポートレットを使用する	12
3.1 デチエポートレットを使用するまでの流れ	12
3.2 システム管理者が行う設定	12
3.2.1 デチエポートレットの使用を許可する	12
3.3 ライブラリ管理者が行う設定	14
3.3.1 ライブラリにガルーンポートレットを設定する	14
3.4 ユーザーが行う操作	16
3.4.1 ポータルにデチエポートレットを追加する	16
付録A コマンドラインでユーザー情報を同期する	18
付録B ログイングへの出力	20
付録C エラーメッセージ一覧	22


1章 デヂエ連携について

1.1 デヂエ連携の概要

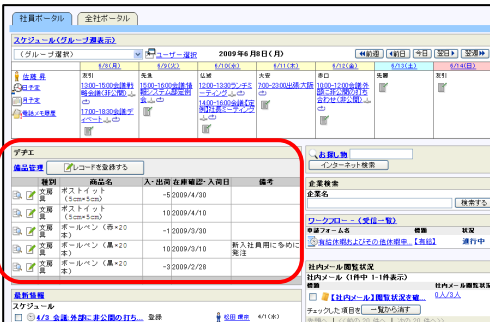
「ガルーン 2」を「デヂエ」と連携すると、「ガルーン 2」のユーザー情報および組織情報を「デヂエ」に同期できます。

また、「デヂエ」のライブラリを「ガルーン 2」のポートレットで表示できます。

デヂエ



ガルーン 2



・ユーザー情報
・組織情報

←

ライブラリのポートレット表示

 補足

- 「サイボウズ デヂエ 8 for ASP」とは、デヂエ連携を設定できません。

1.2 連携に必要な条件

「ガルーン 2」を「デヂエ」と連携するためには、次の条件をすべて満たしている必要があります。

- バージョン 2.5.3 以降の「ガルーン 2」およびバージョン 8.0.2 以降の「デヂエ」を使用している
- 両製品をインストールしたサーバーが、互いに FQDN(完全修飾ドメイン名)で名前解決できる
- 両製品をインストールしたサーバーが、すべて同一のドメインに存在する

1.3 連携仕様

■ 同期する情報について

デヂエ連携を設定すると、「ガルーン 2」の次の情報を「デヂエ」に同期できます。

● ユーザー情報

※ 次の情報が同期されます。

- ログイン名
- 名前
- E-mail
- 所属する組織(デヂエではグループとして同期されます。)

※ 「ガルーン 2」と「デヂエ」のログイン名が一致するユーザーは、「ガルーン 2」のユーザー情報が「デヂエ」に反映されます。

※ ログイン名が「ガルーン 2」のみに存在するユーザーは、「ガルーン 2」のユーザー情報で「デヂエ」に新規に追加されます。

※ ログイン名が「デヂエ」のみに存在するユーザーは、「デヂエ」から削除されます。

※ 「ガルーン 2」の「Administrator」ユーザーは、「デヂエ」に追加されません。

● 組織情報

※ 次の情報が同期されます。

- 組織コード
- 組織名
- 組織に所属するユーザー

※ 「ガルーン 2」と「デヂエ」の組織コード(デヂエではグループコード)が一致する組織は、「ガルーン 2」の組織情報が「デヂエ」に反映されます。

※ 組織コード(「デヂエ」ではグループコード)が「ガルーン 2」のみに存在する組織は、「デヂエ」に新規に追加されます。

※ 組織コード(「デヂエ」ではグループコード)が「デヂエ」のみに存在する組織は、「デヂエ」から削除されます。

■ デヂエポートレットについて

デヂエ連携を設定すると、「デヂエポートレット」を使用できます。

● デヂエポートレット

デヂエの「レコード一覧」
画面を表示します。

デヂエ					
備品管理		レコードを登録する			
種別	商品名	入・出荷	在庫確認	入荷日	備考
文具	ポストイット (5cm×5cm)	-5		2009/4/30	
文具	ポストイット (5cm×5cm)	10		2009/4/10	
文具	ボールペン (赤×20 本)	-1		2009/3/30	
文具	ボールペン (黒×20 本)	10		2009/3/10	新入社員用に多めに 発注
文具	ボールペン (黒×20 本)	-3		2009/2/28	

デヂエの「レコード詳細」
画面を表示します。

ライブラリにレコードを登録します。

※ライブラリに書き込み権限がないユーザーは登録できません。

※ライブラリ管理者の設定により、表示されない場合があります。

デヂエの「レコードの編集」画面を表示します。

※ライブラリに編集権限がないユーザーは書き込みできません。

2章 ユーザー情報を同期する

2.1 ユーザー情報の同期を設定する前に

「ガルーン 2」のユーザー情報を、すでに運用中の「デヂエ」に同期する場合は、同期を設定する前に準備が必要です。必要な準備は、「ガルーン 2」を新規に運用する場合と、「ガルーン 2」がすでに運用中の場合で異なります。



- 「サイボウズ Office plus デヂエ」を使用している場合は、作業前に「デヂエ」に移行してください。

● 「ガルーン 2」を新規に運用する場合

1 「Office」とユーザー情報を連携しない設定に変更する

次のいずれかの条件を満たす場合は、「Office」とユーザー情報を連携しない設定に変更します。

- 「デヂエ」と「Office」でユーザー情報を連携している場合
- 「サイボウズ Office plus デヂエ」を使用している場合

変更手順は、次のとおりです。

- 1) 「デヂエ」で、「システム設定 > ユーザー管理 > ユーザー情報の連携」の順にクリックする
- 2) 「ユーザー情報の連携 - Step 1/2」画面で「ユーザー情報を連携しない」を選択し、「連携先の製品からユーザー情報を取り込む」にチェックを入れて[次に、設定内容を確認する>>]をクリックする
- 3) 「ユーザー情報の連携(ユーザー情報の取り込み) - Step 2/2」画面で[取り込む]をクリックする

2 「デヂエ」に登録された各グループに、「グループコード」を設定する

設定手順は、次のとおりです。

- 1) 「デヂエ」で、「システム設定 > ユーザー管理 > グループ」の順にクリックする
- 2) 各グループの「変更する」をクリックし、グループコードを入力して[変更する]をクリックする

※ CSV ファイルを使用すると、グループコードを一括で設定できます。

3 「ガルーン 2」に、「デヂエ」に登録されたユーザーおよびグループを追加する

各グループは、「ガルーン 2」では組織として登録します。

※ 次の値は、「ガルーン 2」と「デヂエ」で揃えます。

- ユーザーのログイン名／名前
- 組織コード(「デヂエ」ではグループコード)

「●ユーザーのログイン名が同一でない場合の影響」→P.9

「●ユーザーの名前が同一でない場合の影響」→P.9

「●組織コード／グループコードが同一でない場合の影響」→P.9

4 手順3で追加した各組織に、「デヂエ」に登録された各グループに所属するユーザーを追加する

※ 各組織に所属するユーザーは、「ガルーン 2」と「デヂエ」で揃えます。

※ 「デヂエ」に登録された各グループに所属するユーザーは、「フォルダのアクセス権の設定」画面などで確認できます。

● 「ガルーン 2」がすでに運用中の場合

1 「Office」とユーザー情報を連携しない設定に変更する

次のいずれかの条件を満たす場合は、「Office」とユーザー情報を連携しない設定に変更します。

- 「デヂエ」と「Office」でユーザー情報を連携している場合
- 「サイボウズ Office plus デヂエ」を使用している場合

変更手順は、次のとおりです。

- 1) 「デヂエ」で、「システム設定 > ユーザー管理 > ユーザー情報の連携」の順にクリックする
- 2) 「ユーザー情報の連携 - Step 1/2」画面で「ユーザー情報を連携しない」を選択し、「連携先の製品からユーザー情報を取り込む」にチェックを入れて[次に、設定内容を確認する>>]をクリックする
- 3) 「ユーザー情報の連携(ユーザー情報の取り込み) - Step 2/2」画面で[取り込む]をクリックする

2 「ガルーン 2」と「デヂエ」で、ユーザーのログイン名および名前が同一であることを確認する

同一でない場合、両製品でログイン名および名前を揃えます。名前は、「デヂエ」に登録された名前に揃えます。

「●ユーザーのログイン名が同一でない場合の影響」→P.9

「●ユーザーの名前が同一でない場合の影響」→P.9

3 「デヂエ」に登録された各グループに、グループコードを設定する

各グループのグループコードは、「ガルーン 2」の組織コードと揃えます。

「●組織コード／グループコードが同一でない場合の影響」→P.9

設定手順は、次のとおりです。

- 1) 「デヂエ」で、「システム設定 > ユーザー管理 > グループ」の順にクリックする
- 2) 各グループの「変更する」をクリックし、グループコードを入力して[変更する]をクリックする

※ CSV ファイルを使用すると、グループコードを一括で設定できます。

● ユーザーのログイン名が同一でない場合の影響

「ガルーン 2」のユーザー情報を「デヂエ」に同期すると、「デヂエ」のみに存在するログイン名を持つユーザーは「デヂエ」から削除されます。

また、削除されたユーザーに対して設定した、次の「デヂエ」の設定が削除されます。

- 「システム管理者」
- 「サポート登録者」
- 「ライブラリ管理者」
- アクセス権
- メール通知
- RSS 通知の表示ユーザー
- デフォルトビュー
- ユーザーの「個人設定」画面で設定される「一画面に表示する件数」／「My リンク」

● ユーザーの名前が同一でない場合の影響

「ガルーン 2」のユーザー情報を「デヂエ」に同期すると、設定された名前が「ガルーン 2」と異なる「デヂエ」のユーザーに関連して「デヂエ」の各ライブラリで設定された、次の設定が正常に動作しない場合があります。

- 「レコード登録者のアクセス権」の設定
- レコード登録者へのメール通知の設定

● 組織コード／グループコードが同一でない場合の影響

「ガルーン 2」のユーザー情報を「デヂエ」に同期すると、「デヂエ」のみに存在するグループコード（「ガルーン 2」では組織コード）を持つグループは「デヂエ」から削除されます。

また、削除されたユーザーに対して設定した、次の「デヂエ」の設定が削除されます。

- 「システム管理者」
- 「ライブラリ管理者」
- アクセス権
- デフォルトビュー

2.2 ユーザー情報の同期を設定する

ユーザー情報を同期するための設定手順は、次のとおりです。

⚠ 注意

- ユーザー情報の同期を設定する前にあらかじめ「デヂエ」のデータをバックアップしてください。同期した「デヂエ」のユーザー情報は、元に戻せません。
- ユーザー情報の同期で「デヂエ」に追加されたユーザーは、パスワードがランダムな文字列に設定されています。必要に応じて、システム管理者または各ユーザーで、ログインに必要なパスワードを変更してください。各ユーザーでパスワードを変更する場合は、あらかじめ「ガルーン 2」にログインすることで、パスワードを入力せずに「デヂエ」にログインできます。

1 必要な準備を行う

「ガルーン 2」のユーザー情報を、すでに運用中の「デヂエ」に同期する場合は、同期を設定する前に準備が必要です。

「2.1ユーザー情報の同期を設定する前に」→P.7

2 (「ガルーン 2」および「デヂエ」での操作)オープン統合認証 ver.2 を設定し、製品間で認証情報を共有する

※ 設定手順については、各製品の管理者マニュアルを参照してください。

※ 設定後、両製品から一度ログアウトしてください。

※ すでにオープン統合認証 ver.2 を設定している場合は、手順 2 に進んでください。

3 (「ガルーン 2」での操作)「システム管理」画面で、「各アプリケーションの管理」→「デヂエ連携」→「デヂエ連携の設定」の順にクリックする

4 (「ガルーン 2」での操作)「変更する」をクリックする

5 (「ガルーン 2」での操作)「デヂエ連携の変更」画面で各項目を入力し、[変更する]をクリックする

各項目を設定する

● 各項目の説明

項目	項目説明
連携	デジエ連携を使用する／しないを選択します。 ※ 「使用しない」を選択すると、他の項目の設定は無効になります。
デジエ URL	連携する「デジエ」の URL を入力します。
ユーザー情報の自動同期	ユーザー情報の自動同期を設定する／しないを選択します。 「■同期する情報について」→P.6 ※ 「設定する」を選択した場合、同期の繰り返し条件を設定します。 ※ ユーザー情報は、手動でも同期できます。 「■ユーザー情報を手動で同期する」→P.11
デジエポートレットの使用許可	ユーザーのデジエポートレットの使用を許可する／しないを選択します。 「3.2.1デジエポートレットの使用を許可する」→P.12

■ ユーザー情報を手動で同期する

ユーザー情報を手動で同期する手順は、次のとおりです。

 補足

- ユーザー情報を同期する前に、あらかじめユーザー情報の同期を設定する必要があります。
「2章ユーザー情報を同期する」→P.7
- デジエ連携の設定で「ユーザー情報の自動同期」を設定している場合は、ユーザー情報は指定された時間に自動で同期されます。
「2.2ユーザー情報の同期を設定する」→P.10
- コマンドラインを使用して、ユーザー情報を同期できます。
「付録Aコマンドラインでユーザー情報を同期する」→P.18

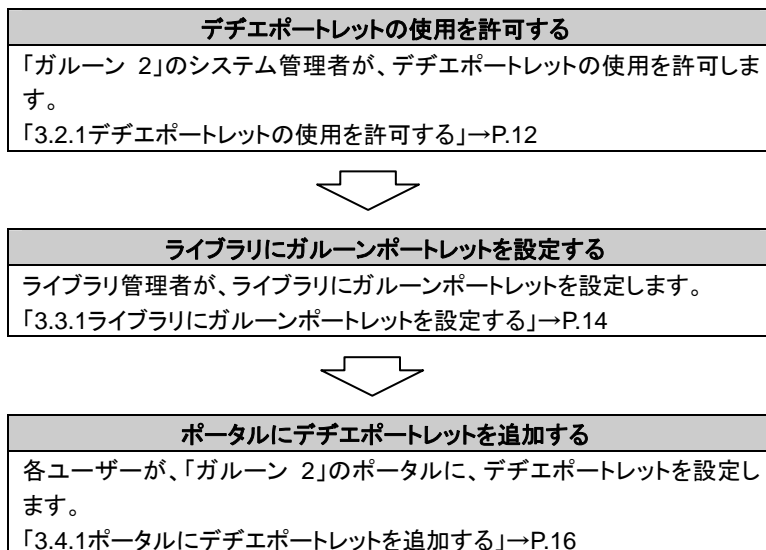
1 (「ガルーン 2」での操作)「システム管理(各アプリケーションの設定) > デジエ連携 > デジエ連携の設定」の順にクリックする

2 (「ガルーン 2」での操作)[手動で同期する]をクリックし、「ユーザー情報の同期」画面で[はい]をクリックする

3章 デジエポートレットを使用する

3.1 デジエポートレットを使用するまでの流れ

「ガルーン 2」のポータルに、デジエポートレットを追加するまでの流れを説明します。



3.2 システム管理者が行う設定

3.2.1 デジエポートレットの使用を許可する

デジエポートレットを使用する場合は、システム管理者がデジエポートレットの使用を許可する必要があります。

1 「ガルーン 2」および「デジエ」での操作)オープン統合認証 ver.2 を設定し、製品間で認証情報を共有する

※ 設定手順については、各製品の管理者マニュアルを参照してください。

※ 設定後、両製品から一度ログアウトしてください。

※ すでにオープン統合認証 ver.2 を設定している場合は、手順 2 に進んでください。

2 「ガルーン 2」での操作)「システム管理」画面で、「各アプリケーションの管理」→「デジエ連携」→「デジエ連携の設定」の順にクリックする

3 「ガルーン 2」での操作)「変更する」をクリックする

4 「ガルーン 2」での操作「デヂエ連携の変更」画面で各項目を入力し、[変更する]をクリックする

各項目を設定する

● 各項目の説明

項目	項目説明
連携	デヂエ連携を使用する／しないを選択します。 ※ 「使用しない」を選択すると、他の項目の設定は無効になります。
デヂエ URL	連携する「デヂエ」の URL を入力します。
ユーザー情報の自動同期	ユーザー情報の自動同期を設定する／しないを選択します。 「2章ユーザー情報を同期する」→P.7
デヂエポートレットの使用許可	ユーザーのデヂエポートレットの使用を許可する／しないを選択します。 ※ 「許可する」を選択した場合、キャッシュの保存期間を設定します。 ※ キャッシュの保存期間には、ポータルが表示時にデヂエポートレットの表示を更新する間隔を指定します。 保存期間を長く指定すると、デヂエポートレットの表示にライブラリの更新が反映されるまでに時間がかかる場合があります。また、保存期間を短く指定すると、デヂエポートレットの表示に時間がかかる場合があります。

☞ 補足

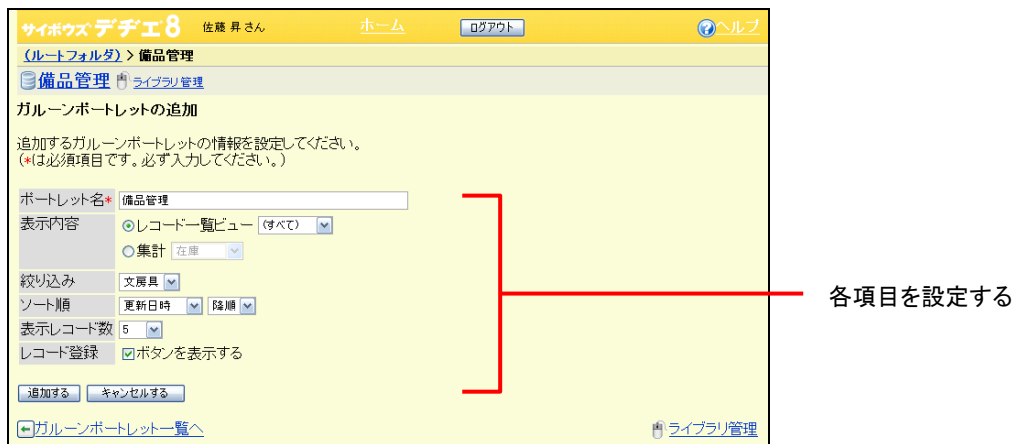
- デヂエポートレットの使用を許可すると、「ポートレットの追加」画面にデヂエポートレットが追加されます。
「■デヂエポートレットについて」→P.6

3.3 ライブラリ管理者が行う設定

3.3.1 ライブラリにガルーンポートレットを設定する

ライブラリにガルーンポートレットを設定する手順は、次のとおりです。

- 1 「(「デジエ」での操作)「ライブラリ管理」画面で、「ライブラリの基本設定 > ガルーンポートレット」の順にクリックする
- 2 「(「デジエ」での操作)「ガルーンポートレットの設定」画面で、「追加する」をクリックする
- 3 「(「デジエ」での操作)「ガルーンポートレットの追加」画面で、それぞれの項目を入力し、[追加する]をクリックする



● 各項目の説明

項目	項目説明
ポートレット名	ポートレット名を入力します。
表示内容	ポートレットの表示内容を選択します。 ※ 「集計」は、「集計」を設定しているライブラリのみ表示されます。
絞り込み	ポートレットで表示するレコードを絞り込む場合は、選択します。
ソート順	ポートレットで表示するレコードのソート順を選択します。
表示レコード数	ポートレットで表示するレコードの数を選択します。
レコード登録	ポートレットにレコードの登録ボタンを表示する場合は、選択します。

例: 次のように設定した場合のデジエポートレット

- ポートレット名 : 備品管理
- 表示内容 : レコード一覧ビュー(すべて)
- 絞り込み : 文房具
- ソート順 : 更新日時(降順)
- 表示レコード数 : 5
- レコード登録 : ボタンを表示する

デジエ					
備品管理 <input type="checkbox"/> レコードを登録する					
	種別	商品名	入・出荷	在庫確認・入荷日	備考
	文房具	ポストイット (5cm×5cm)	-5	2009/4/30	
	文房具	ポストイット (5cm×5cm)	10	2009/4/10	
	文房具	ボールペン (赤×20 本)	-1	2009/3/30	
	文房具	ボールペン (黒×20 本)	10	2009/3/10	新入社員用に多めに 発注
	文房具	ボールペン (黒×20 本)	-3	2009/2/28	

補足

- 設定すると、「ガルーンポートレット一覧」画面に、設定したガルーンポートレットが追加されます。
- 「デジエ」のライブラリで自動ルックアップフィールドを使用している場合、参照先のライブラリまたはフィールドに閲覧権限がないフィールドの値は、デジエポートレットに表示されません。
- 設定したガルーンポートレットを表示できるユーザーを制限できます。
「●ガルーンポートレットの表示ユーザーを設定する」→P.15

● ガルーンポートレットの表示ユーザーを設定する

ガルーンポートレットを表示できるユーザーを制限できます。ガルーンポートレットの表示ユーザーの設定手順は、次のとおりです。

- 1 「デジエ」での操作)「ライブラリ管理」画面で、「ライブラリの基本設定 > ガルーンポートレット」の順にクリックする
- 2 「デジエ」での操作)「ガルーンポートレットの設定」画面で、表示ユーザーを設定するガルーンポートレットの「表示ユーザー」をクリックする
- 3 「デジエ」での操作)「ガルーンポートレットの表示ユーザーの変更」画面で、ガルーンポートレットを表示できるユーザーおよびグループを追加し、[変更する]をクリックする

3.4 ユーザーが行う操作

3.4.1 ポータルにデジエポートレットを追加する

「ガルーン 2」のポータルにデジエポートレットを追加する手順を説明します。

補足

- 「ガルーン 2」のシステム管理者がデジエポートレットの使用を許可していない場合、デジエポートレットは使用できません。
「3.2.1 デジエポートレットの使用を許可する」→P.12
- 「デジエ」でライブラリ管理者が「ガルーンポートレット」を設定しているライブラリのみ、「ガルーン 2」でデジエポートレットを使用できます。
「3.3.1 ライブラリにガルーンポートレットを設定する」→P.14
- 「デジエ」のライブラリで自動ルックアップフィールドを使用している場合、参照先のライブラリまたはフィールドに閲覧権限がないフィールドの値は、デジエポートレットに表示されません。

■ My ポータルにデジエポートレットを追加する

- 1 「デジエ」での操作) デジエポートレットに表示するライブラリの「レコード一覧」画面を表示し、「その他の操作」メニューから「ガルーンポートレット一覧」をクリックする
※ 「デジエ」で「その他の操作」メニューを展開している場合は、「レコード一覧」画面で「ガルーンポートレット一覧」をクリックします。
※ ライブラリの設定によって、ツールメニューに「ガルーンポートレット一覧」が表示されない場合があります。ツールメニューに表示する項目の設定については、「デジエ」の『ライブラリ管理マニュアル』で、「メニューに表示する項目を変更する」を参照してください。
- 2 「デジエ」での操作) 「ガルーンポートレット一覧」画面で、表示するポートレットの「ライブラリコード」をコピーする
- 3 「ガルーン 2」での操作) 「個人設定」画面で、「各アプリケーションの設定 > ポータル > My ポータルの一覧」をクリックする
- 4 「ガルーン 2」での操作) 「My ポータルの一覧」画面で、デジエポートレットを追加するポータルの「My ポータル名」をクリックする
- 5 「ガルーン 2」での操作) ポートレットを追加する位置の「この位置に追加」をクリックする
- 6 「ガルーン 2」での操作) 「ポートレットの追加」画面で、デジエポートレットを選択し、[追加する]をクリックする
- 7 「ガルーン 2」での操作) 手順 6 で追加したポートレットの「設定」をクリックする
- 8 「ガルーン 2」での操作) 「ポートレットの設定(デジエ)」画面で、手順 2 でコピーしたライブラリコードをペーストし、[変更する]をクリックする

■ システムポータルにデジエポートレットを追加する



- システムポートレットにデジエポートレットを追加するためには、「Administrator」権限が必要です。
- システムポータルに追加したデジエポートレットは、「デジエ」に設定したアクセス権にかかわらず、ポータルを閲覧できるすべてのユーザーが閲覧できます。

1 「デジエ」での操作) デジエポートレットに表示するライブラリの「レコード一覧」画面を表示し、「その他の操作」メニューから「ガルーンポートレット一覧」をクリックする

※ 「デジエ」で「その他の操作」メニューを展開している場合は、「レコード一覧」画面で「ガルーンポートレット一覧」をクリックします。

※ ライブラリの設定によって、ツールメニューに「ガルーンポートレット一覧」が表示されない場合があります。ツールメニューに表示する項目の設定については、「デジエ」の『ライブラリ管理マニュアル』で、「メニューに表示する項目を変更する」を参照してください。

2 「デジエ」での操作) 「ガルーンポートレット一覧」画面で、表示するポートレットの「ライブラリコード」をコピーする

3 「ガルーン 2」での操作) 「システム管理」画面で、「各アプリケーションの管理 > ポータル > ポータルの一覧」をクリックする

4 「ガルーン 2」での操作) 「ポータルの一覧」画面で、デジエポートレットを追加するポータルの「ポータル名」をクリックする

5 「ガルーン 2」での操作) ポートレットを追加する位置の「この位置に追加」をクリックする

6 「ガルーン 2」での操作) 「ポートレットの追加」画面で、デジエポートレットを選択し、[追加する]をクリックする

7 「ガルーン 2」での操作) 手順 6 で追加したポートレットの「設定」をクリックする

8 「ガルーン 2」での操作) 「ポートレットの設定(デジエ)」画面で、手順 2 でコピーしたライブラリコードを貼り付け、[変更する]をクリックする

※ 設定したデジエポートレットを公開する場合は、公開する設定が必要です。既定では「非公開」に設定されます。

付録A コマンドラインでユーザー情報を同期する

コマンドラインを使用して、「ガルーン 2」と「デヂエ」のユーザー情報を同期できます。コマンドラインを使用すると、Windows のタスク スケジューラや Linux の cron を使用して、同期の繰り返し条件を設定できます。

⚠ 注意

- 同期を実行すると、「デヂエ」のユーザー情報が上書きされます。同期した「デヂエ」のユーザー情報は元に戻せません。

📖 補足

- ユーザー情報を同期する前に、あらかじめユーザー情報の同期を設定する必要があります。「2 章ユーザー情報を同期する」→P.7
- 「ガルーン 2」を複数台のサーバーで運用している場合は、いずれか 1 台のサーバーでコマンドラインを実行します。

■ Windows 版の場合

ここでは、「ガルーン 2」を次のディレクトリにインストールした場合を例として説明します。

C:\inetpub\scripts\cbgrn

1 コマンドプロンプトを起動する

2 カレントディレクトリを次のディレクトリに移動する

C:\inetpub\scripts\cbgrn

3 次のコマンドを実行する

```
.\grn.exe -q -C -f code%command%send_user_to_dezie.csp url=(デヂエの URL)?page=DBGaroonUserSync
```

例:

```
.\grn.exe -q -C -f code%command%send_user_to_dezie.csp  
url=http://dezie.domain.co.jp/scripts/cbdb/db.exe?page=DBGaroonUserSync
```

■ Linux 版の場合

ここでは、「ガルーン 2」を次のディレクトリにインストールした場合を例として説明します。

/var/www/cgi-bin/cbgrn

1 コンソールを起動する

2 カレントディレクトリを次のディレクトリに移動する

/var/www/cgi-bin/cbgrn

3 次のコマンドを実行する

```
./grn.cgi -q -C -f code/command/send_user_to_dezie.csp url=(デヂエのURL)?page=DBGaroonUserSync
```

例:

```
./grn.cgi -q -C -f code/command/send_user_to_dezie.csp  
url=http://dezie.domain.co.jp/cgi-bin/cbdb/db.cgi?page=DBGaroonUserSync
```

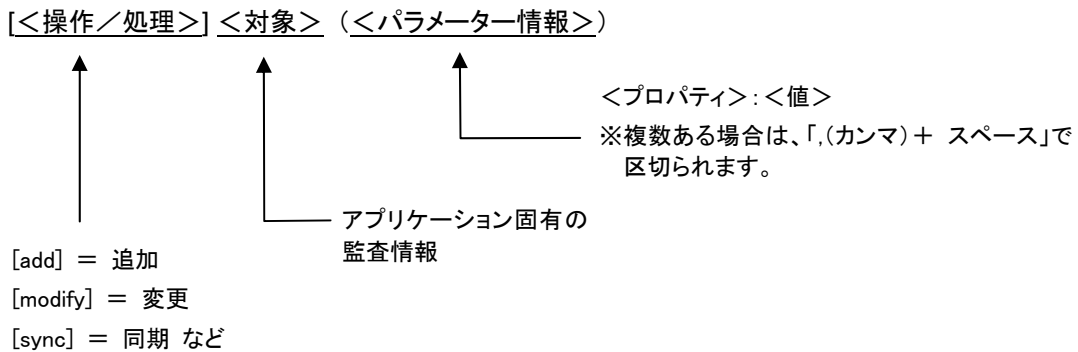
補足

- コマンドを実行すると、標準出力の内容が次の実行ログに出力されます。
 - Windows 版の場合
C:¥InetPub¥Scripts¥cbgrn¥send_user_to_dezie.log
 - Linux 版の場合
/var/www/cgi-bin/cbgrn/send_user_to_dezie.log

付録B ロギングへの出力

「ガルーン 2」で出力されるログのうち、デヂエ連携に関する操作で出力されるログの仕様は、次のとおりです。

■ ログの仕様について



■ 出力されるログ

● システム管理

※ プロパティ

dezielink_available: デヂエ連携の使用(使用する:"1" /許可しない:"0")

url: 「デヂエ」の URL

sync_user_available: ユーザー情報の自動同期(設定する:"true" /設定しない:"false")

repeat_type: 繰り返し条件(毎日:1 /毎週:2 /毎月:3)

repeat_value:

- repeat_type の値が 2 の場合は、日曜日:0 /月曜日:1 /火曜日:2 /水曜日:3 /木曜日:4 /金曜日:5 /土曜日:6
- repeat_type の値が 3 の場合は、日付(月末の場合は 0)

hour: 設定時刻(時)

minute: 設定時刻(分)

portlet_available: デヂエポータルレットの使用許可(設定する:"true" /設定しない:"false")

cmd: コマンドラインで同期した場合に出力

対象	操作	深刻度	出力仕様
デヂエ連携	設定	重要情報	[modify] dezielink_setting (dezielink_available:XX, url:XX, sync_user_available:XX, repeat_type:XX, repeat_value:XX, hour:XX, minute:XX, portlet_available:XX)
ユーザー情報の同期	同期	重要情報	[sync] dezielink_sync_user (url:XX, cmd:1)

● デヂエポートレットの操作

※ プロパティ

pid: ポータル ID

plid: ポートレットレイアウト ID

ppid: ポートレット ID

url: ライブラリ情報の取得 URL

対象	操作	深刻度	出力仕様
デヂエポートレット	設定	重要情報	[modify] dezielink_portlet_setting (pid:XX, plid:XX, ppid:XX, url: XX.)
デヂエポートレット	更新	重要情報	[get] dezielink_portlet_data (url: XX)

● エラー

※ プロパティ

error_code: HTTP クライアントが返したエラーコード

error_message: HTTP クライアントが返したエラーメッセージ

status_code/status: 「デヂエ」の Web サーバーが返したステータスコード

url: 「デヂエ」の URL

fault_code: デヂエサーバーが返したエラーコード

fault_string: デヂエサーバーが返したエラーメッセージ

対象	操作	深刻度	出力仕様
デヂエ連携	コネクションエラー	エラー	dezielink_connection_error(error_code:XX, error_message:XX)
デヂエ連携	コネクションエラー	エラー	dezielink_http_error(status_code:XX, url:XX)
デヂエポートレット	コネクションエラー	エラー	dezielink_connection_error(error_code:XX, error_message:XX)
デヂエポートレット	コネクションエラー	エラー	dezielink_http_error(status:XX, url: XX)
デヂエ連携	認証エラー	エラー	dezielink_auth_error (fault_code:XX, fault_string:XX)
エラー		エラー	[プロセス ID] エラー番号

付録C エラーメッセージ一覧

「ガルーン 2」で出力されるエラーメッセージのうち、デジエ連携に関する操作で出力されるエラーメッセージは、次のとおりです。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対策
GRN_DZLK_61000	処理を中断しました。	デジエ連携を使用しない設定になっています。	システム管理者にご相談ください。
GRN_DZLK_61001	デジエが動作するサーバーとの接続に失敗しました。	デジエが動作するサーバーとの通信時にエラーが発生しました。通信時のエラーメッセージ:〇〇	デジエが動作するサーバーの状態を確認してください。
GRN_DZLK_61002	処理を実行できません。	デジエとの通信時にエラーが発生しました。HTTP ステータスコード:〇〇	デジエが正常に動作していることを確認してください。
GRN_DZLK_61003	処理を実行できません。	デジエ連携に使用する認証方式が削除または変更されている可能性があります。	デジエ連携に使用する認証方式を確認し、再度設定行ってください。
GRN_DZLK_61004	処理を実行できません。	デジエ連携に使用する認証方式(〇〇)が無効になっている可能性があります。	デジエ連携に使用する認証方式を有効にしてください。
GRN_DZLK_61052	処理を実行できません。デジエのエラー番号:〇〇	デジエサーバーとの通信時にエラーが発生しました。デジエサーバーからの応答:〇〇	ガルーンとデジエで、オープン統合認証 ver.2 の設定を確認してください。または、デジエの状態を確認してください。解決しない場合は、お手数ですがサイボウズまでお問い合わせください。
GRN_DZLK_61053	処理を実行できません。	デジエサーバー(〇〇)とユーザー情報を同期中です。ユーザー情報の同期処理は、同時に複数実行できません。	実行中の同期処理が終了してから、再度処理を実行してください。
GRN_DZLK_61100	デジエポートレットの登録に失敗しました。	デジエポートレットの使用が許可されていません。	システム管理者にご相談ください。